

約100社が年間約1,500冊の図書館雑誌のスポンサーに 地元企業や店舗など雑誌スポンサーが集まるマルシェを初開催

**地元企業が読書文化に貢献してくれていること、またその企業やお店を知ってもらう
きっかけに**

図書館機能を中心とする複合施設「海南nobinos」（和歌山県海南市）は、地元企業や店舗など、図書館の雑誌購入費を負担してくれている「雑誌スポンサー」が出店する「ノビノスマーケット」を、2025年1月5日にノビノスホール・多目的室1・多目的室2にて初開催します。地域貢献への思いや、社内文庫支援など独自の取り組みにより、スポンサーは約100社で年間約1,500冊と全国でも有数の多さです。「ノビノスマーケット」では27のスポンサーが出店し、商品販売やワークショップ開催のほか、それぞれおすすめの本も展示します。各ブースを回るゲームも実施し、地元企業が読書文化に貢献してくれていること、またその企業やお店について知ってもらうきっかけにしたいと考えています。

地域貢献への思いや、社内文庫支援など独自の取り組みで「雑誌スポンサー制度」好調

海南ノビノスでは、企業や団体が図書館の雑誌の購入費を負担し、その最新刊のカバーなどに名前を表示する「雑誌スポンサー制度」を2022年から導入しています。市民の読書環境を支えるための当館や地域への貢献活動として、現在スポンサーは海南市や和歌山県の地元企業や店舗などを中心に101社、年間1,487冊と、全国でも有数の多さとなっています。また、当館独自の取り組みとして、スポンサー企業へ図書を貸し出し「社内文庫」を設置する支援や、海南ノビノスのギャラリーを活用し、企業のことを知ってもらう展示の開催支援なども行っています。雑誌購入費の削減だけでなく、地域企業と連携してイベントを企画したり、企業同士の交流や協働につなげたり、地域社会全体で読書推進や地域活性化に取り組むことができる環境づくりを目指しています。



ノビノス文庫の様子

企業同士の交流や協働のきっかけにも

「ノビノスマーケット」には、パンやスイーツなどの食べ物、コーヒーやジュースなどの飲み物、漆器や雑貨、アクセサリなどの販売と、キャンドルや酵素ジュース作りなどのワークショップが開催されます。それぞれのブースで店主のおすすめ本も1冊展示します。参加者に全ブースを



ノビノスギャラリーの様子

本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南nobinos 指定管理者TRC海南（担当：馬場・西岡）

〒642-0002 和歌山県海南市日方1525-6

TEL :

073-483-8739 FAX : 073-483-8738

回ってもらえるよう、本のタイトルから1文字ずつ取って文章を完成させるゲームも企画しました。スポンサー同士が名刺交換を行う時間をもつ予定で、企業同士の交流や、協働にもつなげたいと考えています。

参考

■ノビノスマーケットin海南nobinos（入場無料）

日時：2025年1月5日（日） 10：30～16：00

会場：ノビノスホール ・ 多目的室1 ・ 多目的室2

主催：海南nobinos

内容：雑誌スポンサーである27の企業や店舗が出店し、商品の販売やワークショップを開催します。

出店者のおすすめ本を展示し、各ブースを回りながら、本のタイトルから1文字ずつ取って文章を完成させるゲームを実施します。正解者先着100名に、ノビノストートバッグをプレゼントさせていただきます。

■「海南nobinos」施設概要

名称：海南nobinos（カインアン ノビノス）

※「のんびりする」「のびのびできる巣」という意

所在地：和歌山県海南市日方1525番地6

Access：JR海南駅より徒歩7分

開館時間：9：00～21：30

休館日：12月29日～1月3日

運営：指定管理者 TRC海南

代表団体：株式会社図書館流通センター（本社：東京都文京区 代表取締役社長 谷一文子）

構成団体：株式会社明日香（本社：東京都文京区 代表取締役 萩野吉裕）

：大揚興業株式会社（本社：和歌山市新通2丁目 代表取締役社長 村田弘至）

施設内容：①図書館機能／蔵書冊数14万4865冊（うち絵本の冊数5万2659冊）*2023年6月末時点
②市民活動・生涯学習活動支援機能／ホール(最大254席)、多目的室×3、会議室×2、音楽練習室×1
③子育て支援機能／和歌山県内の公共図書館では初の常設有料託児室、乳幼児用の遊び場、屋外広場に隣接する保護者待機室など
④カフェ／スターバックス コーヒー 海南nobinos店（館内は全て蓋つき飲み物の利用可）
⑤広場

■来館者数関西一 “賑わう図書館”

海南nobinosは、図書館機能を核としながらも、ホール・貸館、子育て支援機能を持ち、広場のほか、スターバックスコーヒーも出店しています。図書館は、手に取れる冊数としては日本一となる5万冊の絵本を開架し、児童書、一般書、マンガなど親しみやすい図書を中心に揃えています。ぶつかっても怪我をしないクッション性の高い書架や、押し入れのような閲覧席、寝転んで本を読む読書の森や遊具など、遊びながら本に触れ、好奇心を高める工夫を随所に施しています。2020年6月1日の開館以来、図書館に来るきっかけになるようなイベントも多数開催し、年間来館者数は59.7万人と、人



人口10万人規模の自治体の公共図書館と比較して関西一となります（日本図書館協会「日本の図書館 統計と名簿2023」より）。